

会 告 (I)

日本鉄鋼協会第 51 回 (春季) 講演大会講演募集

明春 4 月東京に於ける講演大会に於て講演御希望の方は下記要領お含みの上奮つてお申込み下さい (開催日時及場所は後でお知らせします)

- (1) 講演申込期日 昭和 30 年 12 月 10 日の締切を励行いたします。
- (2) 講演申込先 東京都千代田区丸ノ内 2 の 10 仲 14 号館 1 号日本鉄鋼協会宛
- (3) 申込用紙 ハガキ大の紙片に (a) 講演題目, (b) 講演者 (学位, 称号, 振仮名付氏名), 連名のときは実際の講演者に○印を附すること. (c) 幻燈の要否, 以上お書き下さい.
(講演時間は 20 分以内とす)
- (4) 講演前刷用原稿 申込と同時に協会所定の 400 字詰原稿用紙 6 枚以上 10 枚以内とし〔図表ある場合はこの枚数内にて 3 個以内 (3 個で原稿用紙 5 枚に相当, 但し例えば第一図 (a) (b) (c) (d) 等の並列図は紙面を多く取りますので避けられたし〜詳細な図表は講演会場で発表して頂き後で論説として御寄稿の際に御添付願います) にとどめ, 尙図面は寄稿規定に従つてお書き下さい〕協会宛送付のこと (原稿用紙は 1 冊 30 枚綴り 30 円, 送料 8 円でお頒けします) 原稿の冒頭には講演題目 (英訳併記), 勤務先, 講演者氏名を明記して下さい.
- (5) 講演前刷原稿は研究の内容が予め充分了解出来るようにして特に研究の結論を詳細に御記載下さい。
- (6) この講演前刷は会誌『鉄と鋼』昭和 30 年 3 月号として刊行致しますので編集及び印刷の都合上締切後の受付は致しませんから原稿は期日迄に必ず御送付願います。
- (7) 講演される方は会員に限りますので, 会員外の方で講演御希望の方は入会の手続終了後御申込み下さい。

電子顕微鏡の応用活用に関する特別大会開催

日 時 昭和 30 年 11 月 27 日 (日) 28 日 (月) の 2 日間 (10 月号会告で御通知しました日時 26, 27 の 2 両日が 27, 28 日の両日に変更されました)

場 所 東京都千代田区大手町二丁目産経会館国際展示場

特別講演 10:00~17:00

電子顕微鏡の発達史

電子顕微鏡の原理

資料のつくり方

電子顕微鏡像と回折像

電子顕微鏡の金属材料への応用

〃 無機材料への応用

〃 高分子材料への応用

〃 医学における応用

(芝浦製作所) 瀬藤 象二

(阪 大) 管田 栄治

(東 大) 深見 章

(東 工 大) 本庄 五郎

(東 大) 谷 安正

(東 大) 水渡 英二

(東 工 大) 久保輝一郎

(東 大) 東 昇

一般講演 13:00~

電子顕微鏡実演展示説明会

わが国電子顕微鏡メーカー並びに海外著名メーカーの製品について行う。

共 催 団 体

高分子学会, 日本鉄鋼協会外

會 告 (II)

印度金属学会より招請の件

今般下記の通り印度金属学会より本会に宛てまして、本年 12 月 20 日より 22 日まで 3 日間印度カルカッタにおいて開かれます同学会第 9 回年次総会に本会々員の参加出席方を招請してまいりました。つきましては出席御希望の方は来る 11 月 10 日までに本会へ御申出で下さい。(現在の職務、学位称号等併記) なお、出張の旅費その他の経費はすべて御自弁のことゝ御承知願います。

昭和 30 年 10 月

日本鉄鋼協会

The Indian Institute of Metals
31 Chowringhee Road, Calcutta-16
India

Dear Sir/s:

The Ninth Annual General Meeting of the Institute will be held in Calcutta on 20th (Tuesday), 21st (Wednesday) and 22nd (Thursday), December, 1955.

The programme will include presidential address, technical meetings, film show, plant visits, etc.

The Second Educational Lecture Series on the "Mechanical and Physical Properties of Steel" will also be held in conjunction with the Annual Meeting.

Dr. J. C. Ghosh, FNI, member, Planning Commission, Government of India, will deliver the Fourth Pandya Memorial Lecture on the "Problems of Fuel and Power in India", during the Annual Session.

On behalf of Council of the Institute, I invite you and members of your Institute/Society/Association, to attend our Ninth Annual General Meeting. I shall be grateful if you will kindly circulate this invitation to your members to enable any one visiting India at that time to attend the meeting.

Yours faithfully

D. P. Antia
Honorary Secretary

会 告 (III)

塑性加工専門講演会プログラム

(高分子学会, 精機学会, 塑性加工研究会, 日本金属学会, 日本鉄鋼協会, 日本機械学会連合)

7月号会告に予告して置きしてました通り上記6学協会共催の塑性加工専門講演会は愈々下記プログラムにより開催されることとなりましたので, お繰り合せ, 御聴講下さい。

日 時 昭和30年11月10日(木), 11日(金)

場 所 日本交通協会(千代田区丸の内3の4 国鉄有楽町駅, 都電馬場先門または日比谷下車)

第1日 (11月10日) 9時30分開会 (*印 講演者)

- (1) Cook and Larke の圧縮試験について (25分) 井上 信雄
- (2) 軟鋼の塑性曲線 (20分) 高瀬 泰二
- (3) ねじり引張試験機および鋼の降伏について (15分) *斎藤 浩一, 塩田 治雄, 井垣 久
- (4) 線材の捻回試験について (15分) 鈴木 弘, 橋爪 伸, *伊藤 保男, 内野 照雄
- (5) りん青銅線の伸線試験(黄銅を含む) (25分) 鈴木 弘, *橋爪 伸
- (6) 銅線の精密伸線法(第2報) 標準インダクタンス製法に関する研究 (15分) *小林 昭, 長岡純一

午後の部 13時開会

特別講演 欧米の自動車工業について(1時間) 中川 良一

- (7) 鋼管の押し抜け試験について (15分) 鈴木 弘, *日比野文雄, 井上 勝郎
- (8) 鋼管の逆張力引抜加工に関する研究(第1報) (25分) 鈴木 弘, 井上 勝郎 *今井 宏
- (9) 鋼管の実用試験について (25分) 岡本 豊彦
- (10) 衝撃押出力の算定 (15分) 福井 伸二, *工藤 英明, 清野 次郎
- (11) 円筒形の圧印加工 (15分) 工藤 英明
- (12) 押明け穿孔加工法(第4報) (15分) 久能木真人

第2日 (11月11日) 9時30分開会

- (13) プラスチックスの切削加工法の研究 (15分) 小林 昭, 塚田 為康
- (14) 各種薄板材料に対するせん断速度の影響 (15分) 前田 禎三
- (15) せん断加工工具用材料の摩耗試験 (20分) 斎藤 博
- (16) 薄板の曲げ加工の研究(第4報) (15分) 益田 森治, *森田 稔
- (17) 薄板の塑性曲げについて(第6報) (20分) 戸沢 康寿
- (18) 円筒深絞り容器の残留応力(第1報) (15分) 馬場秋次郎
- (19) 円筒深絞り容器の残留応力(第2報) (15分) 馬場秋次郎

午後の部 13時開会

特別講演 欧米の航空機工業における塑性加工について(1時間) 小山荘之助

- (20) 深絞り加工におけるしわの発生について (15分) 宮川 松男
- (21) 深絞りのしわおよびその抑制機構 (20分) *春日 保男, 河合 望
- (22) 深絞りの塑性理論(第2報) (20分) 室田忠雄
- (23) ハイドロフォーミングについて (15分) 益田 森治, *室田 忠雄
- (24) 液圧成形法 (15分) *福井 伸二, 吉田 清太, 阿部 邦雄
- (25) 剛性体工具による底付円筒の張出し (15分) 福井 伸二, 吉田 清太, 堀田雄次郎

前 刷 上記講演には前刷がありますから 10月31日まで下記あてに着信するように代金を添えてお申込み下さい。

(前刷は全講演をまとめて1冊)

定 価 1冊 金 150円 (送費負担)

○申込先 東京中央局区内 千代田区丸の内2の2 丸ビル 561区 日本機械学会

会 告 IV

第 1 回 鉄 鋼 計 測 講 習 会 開 催 案 内

品質管理が戦後わが国に導入せられてから短日月の間に急速に普及し、わが鉄鋼業界におけるこれが応用も漸次盛となり着々成果を挙げて居ります。しかしその基礎となるべき計測についてはなお十分でない点があります。この度弊会では工程管理上最も必要な計測の実際問題につき斯界の権威者を講師として下記要領により講習会を開催いたすこととなりましたので奮つて御参加下さい。なお、題目については弊会より鉄鋼関係各社に問合せを出しその回答に基づいて選定したものであります。各社の御希望は広汎に亘つていますので引続き第2回、第3回の講習会開催を予定して居ります。

記

会 期 昭和 30 年 11 月 7 日 (月) より 11 月 9 日 (水) まで 3 日間
 会 場 東京都芝区海岸通 1 丁目 20 番地 東京都立工業奨励館 (国電浜松町下車)
 演 題 並びに時間割

11月7日 (月)	{	9:00~10:00	品質向上と計測	東京大学工学部教授	山内二郎氏
		10:00~12:00	新しい計測法	東京大学工学部教授	磯部 孝氏
		13:00~14:30	メッキその他被膜の厚さおよび板厚の測定について	神戸工業株式会社	三輪博秀氏
		14:30~16:00	その測定と実施	同上	同上
11月8日 (火)	{	9:00~12:00	潤滑油の性質とその用法	東京大学理工学研究所教授	曾田範宗氏
		13:00~14:30	サーミスターの性質およびその利用法	電気通信研究所電気部品研究室	川口清一氏
		14:30~16:00	粘度の連続測定	横河電機製作所測量技術部	遠藤富雄氏
11月9日 (水)	{	9:00~10:30	迅速ガス分析について	東京大学工学部教授	宗宮尙行氏
		10:30~12:00	焼鈍炉保護ガスの分析およびその調節について	東洋鋼鉄株式会社	北村陽一氏
		13:00~14:00	質量分析計とその応用	日立製作所中央研究所	岡本潤一氏
		14:00~15:00	一般の微量ガス分析	北辰電機製作所	堤 厚氏
		15:00~16:00	赤外線ガス分析計	富士電機株式会社	河栗清好氏

定 員 100 名

申 込 昭和 30 年 10 月 25 日までに東京都千代田区丸ノ内 2 丁目 10 番地
 日本鉄鋼協会あて講習料をそえて申込下さい。

講 習 料 1 名 1,500 円 (プリント代を含む)

会 告 (V)

第 5 回 品 質 管 理 大 会 開 催

第 5 回品質管理大会は 19 団体の共催により 11 月下旬 6 日間に亘り東京大学において下記プログラムにより開催されます。多数の会員諸氏の御参会を希望いたします。

主催 日本鉄鋼協会、日本金属学界、日本化学会、電気通信学会、日本薬学会、繊維学会、電気学会、日本分析化学会、日本鋳業会、日本鋳業協会、全国炭鋳技術会、高分子学会、日本工業経営学会、日本規格協会、計測学会、燃料協会、米国品質管理協会日本支部、デミング賞委員会、日本科学技術連盟。

後援 日本経済新聞社

会期 昭和 30 年 11 月 21 日 (月) 22 日 (火) 23 日 (水) 24 日 (木) 25 日 (金) 26 日 (土) の 6 日間、
各日 9 時～16 時

会場 東京大学・工学部

プ ロ グ ラ ム

品質管理討論会 (第 1 日: 21 日～第 6 日: 26 日)

○第 1 日: 11 月 21 日 (月)

[第 1 会場]—一般部会……………大講堂 (2 号館)

[第 2 会場]—金属部会……………21 番教室 (2 号館)

○第 2 日: 11 月 22 日 (火)

[第 1 会場]—一般部会……………大講堂 (2 号館)

[第 2 会場]—化学部会……………21 番教室 (2 号館)

ただし午後 Panel Discussion—大講堂 (2 号館) 午後 5 時から園遊会—東大・山上食堂、会費 1 名 500 円

○第 3 日: 11 月 23 日 (水)

[第 1 会場]—一般部会……………大講堂 (2 号館)

[第 2 会場]—化学部会……………21 番教室 (2 号館)

○第 4 日: 11 月 24 日 (木)

[第 1 会場]—一般部会……………大講堂 (2 号館)

[第 2 会場]—化学部会……………21 番教室 (2 号館)

○第 5 日: 11 月 25 日 (金)

[第 1 会場]—OR 部会……………大講堂 (2 号館)

[第 2 会場]—電機部会……………21 番教室 (2 号館)

○第 6 日: 11 月 26 日 (土)

デミング賞受賞者報告会……………日本医師会館

なお鉄鋼に直接関係ある講演は次のとおりであります。

第 1 日 (11 月 21 日) 9 時～16 時 (第 2 会場) (金属部会)

- 201 焼結鋳コンベア輸送の際の水引の問題について
- 202 白銹溶湯における炭素量変動の一解析
- 203 鋼塊の均熱炉装入待時間についての一考察
- 204 圧延鋼材からみた鋼塊の適正重量について
- 205 鍛圧鋼材の温度管理についての考察

- | | |
|--------|-------------|
| 日本鋼管 | 舟田 四郎・安藤 遼 |
| 日立製作所 | 坂井 直美 |
| 日本鋼管 | 松原 義博 |
| 日本鋼管 | 中村 雄松・入江 利治 |
| 住友金属工業 | 和田 善郎・石丸 義一 |
| | 白谷 矩示 |
| 東大・助教授 | 朝香 鉄一 |
| 日本鋼管 | 桂 寛一郎・伊沢 哲夫 |
| 富士製鉄 | 尾林 武衛・山岡 孝 |
| 日本製鋼所 | 宮野樺太男 |
| 八幡製鉄 | 園田 淳哉 |
| 川崎製鉄 | 竹石 真久・河合 嘉夫 |
| 日科技連 | 西堀栄三郎 |

第 4 日 (11 月 24 日) 9 時～12 時 (一般部会) 第 1 会場

- 132 鉄鋳石サンプリングの達成精度の検討
- 133 鉄鋳石・石炭の貨車サンプリングについて
- 134 輸入炭の積地分析値と揚地分析値の差について
- 135 コークスのサンプリングについての実際

- | | |
|------|-------------|
| 八幡製鉄 | 内田 博祥 |
| 富士製鉄 | 小山 謙・松沢 正 |
| | 伊藤 克夫・渡辺 時治 |
| 日本鋼管 | 佐藤 武彦・宮津 隆 |
| 日本鋼管 | 稲原 敏雄・椿 孟 |
| | 西山 秀雄 |

— 会 告 VI —

九州地方講演会開催御案内

日本鉄鋼協会九州支部
日本金属学会九州支部 共 催
日本鋳業会九州支部

この度下記により講演並びに見学会を開催いたしますので会員多数御出席下さいますよう御案内いたします。

記

1. 会 期 第一日講演会 昭和 30 年 11 月 20 日 (日)
第二日見学会 昭和 30 年 11 月 21 日 (月)
2. 会 場 大分県物産観光館 (別府市流川通り)
- (イ) 講 演 会

開 会 の 辞 (10:00~10:05)	日本金属学会九州支部長	谷 村 瀬氏
(1) 鉛製錬過程中における鉛の化合状態に関する一考察 (10:05~10:35)	日本鋳業佐賀製錬課長	藤 井 孝氏
(2) 酸素製鉄法の進歩 (10:40~11:15)	九州大学工学部教授工博	八 木 貞 之 助氏
(3) 転炉製鋼法の現状 (11:20~11:55)	八幡製鉄所技術研究所技師	前 原 繁氏
中 食 休 憩 (12:00~13:00)		
(4) 特殊稀有金属の利用について (13:00~13:35)	九州大学工学部教授工博	伊 藤 尙氏
(5) 超耐熱合金の最近の趨勢 (13:40~14:15)	三菱造船 参事	金 森 政 雄氏
(6) 光輝焼鈍について (14:20~14:55)	中外炉工業技術部次長	丸 岡 芳 樹氏
- (ロ) 映 写 会 (U.S.I.S.提供)
 - (1) 原子力とは 原子力と産業 (15:00~15:25)
 - (2) 米国鉄工業の進歩 (15:30~16:00)
- 閉 会 の 辞 (16:00~16:05) 日本鉄鋼協会九州支部長 角 野 尙 徳氏
- (ハ) 見 学 会 11 月 21 日 9:00 物産観光館前集合出発 (バス利用)
 - (1) 西日本電線 K.K. (大分市春日浦) (9:30~15:25)
 - (2) 日本鋳業 K.K. 佐賀製錬所 (大分県佐賀県) (13:00~15:00)
3. 参 加 費 300 円 (見学日のバス代を含む) 当日会場受付にて御払込下さい。
4. 申 込 締 切 出席者は出席者名簿作製その他の都合により必ず申込書を昭和 30 年 11 月 10 日 (厳守)迄に八幡市枝光八幡製鉄所研究所内日本鉄鋼協会九州支部宛申込下さい。
5. 宿 舎 各自早目に申込おき下さい。

なお次の宿舎にては特別の便宜を図る旨申し出があつておりますのでお知らせ致します。

清 天 閣	別府的ヶ浜	1 泊	1000 円	Tel 1135. 252
二 条 館	別 府 北 浜		1000 円	Tel 3700
高砂ホテル	別府海岸浅橋通		1200 円	Tel 2239. 588
清 風 荘	別 府 北 浜		1500 円	Tel 125. 1703